

中間報告書

2025年6月1日～2025年11月30日

第45期

平素は格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2025年11月30日をもって、第45期中間連結会計期間(2025年6月1日から2025年11月30日まで)が終了いたしましたので、ここに営業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 長野 庄吾

2026年2月

営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調が続いている中、米国の通商政策の影響や長期の物価上昇、不安定な国際情勢により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはローリング方式による新たな中期経営計画である「IK WAY to 2028」を策定し、①韓国コスメを柱としてK-Beautyのリーディングカンパニーを目指す。②ECでの売上シェアを売上上の30%までシェアを高める。③ODMの取組を本格化し新たな柱に成長させる。に取り組んでおります。

戦略商品であります韓国コスメの拡販を図るためコンビニエンス・ストア販路を開拓し、セブンイレブン・ジャパンさんでmanyo(マニョ)とBRAYE(ブレイ)の販売が始まりましたほか、韓国発マイクロバームスキンケアブランド「UIQ(ユイク)」、POP-UP STOREも展開してまいりました。また、ECではECモールの販路拡大としてAmazon新店舗やQoo10 Shop、TikTok Shopを開設し、海外販路ではドン・キホーテさんの海外店舗への卸などの営業を強化しております。

人的資本の強化といたしましては、引続きWWP(ワーキングウーマンプロジェクト)を継続し、多様な働き方の推進を図っております。また、当社グループ初となる「えるぼし」(女性が活躍する企業への厚生労働省の認定制度)の3つ星を取得いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高7,441百万円(前年同期比25%増)、営業利益121百万円(前年同期比18.2%増)、経常利益111百万円(前年同期比12.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益49百万円(前年同期比62.5%減)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

<ダイレクトマーケティング事業>

TVショッピングは効率重視のもと、引続き放映枠を絞り込んでいることから売上は減少を続けており前年同期比69.2%減収となりました。一方、WEBショッピングは新たなWEBモール販路を開拓するなど前年同期比11.3%増収いたしました。韓国コスメのSHOPルートでは、当中間連結会計期間末での店舗数は3店舗(前年同期は4店舗)となりましたことから前年同期比14.4%減収いたしました。

これらにより、当事業の売上高は1,522百万円(前年同期比23.3%減)となり、営業利益は63百万円(前年同期比262.5%増)となりました。

<セールスマーケティング事業>

売上高は、店舗ルートにおいて韓国コスメの売上拡販により前年同期と比較して33.7%増収いたしました。通販ルートでは21.0%増収し、生協ルートでは、食品が微増したものの、1.7%の減収になりました。

これらにより当事業の売上高は5,917百万円(前年同期比12.2%増)となり、営業利益は418百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書計上額 (注2)
	ダイレクト マーケティング事業	セールス マーケティング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,522,330	5,917,921	7,440,251	780	7,441,031
セグメント間の内部売上高、又は振替高	737,886	62,243	800,129	△800,129	—
計	2,260,216	5,980,164	8,240,381	△799,349	7,441,031
セグメント利益	63,198	418,168	481,367	△359,499	121,867

(注) 1. セグメント利益の調整額△359,499千円は、主に各報告セグメントに配分していない持株会社運営に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位:千円)

資産の部

流動資産: **5,411,746**

(前期末比: 194,720増)

固定資産: **868,234**

(前期末比: 8,259増)

負債・純資産の部

流動負債: **2,398,970**

(前期末比: 6,886増)

固定負債: **1,493,312**

(前期末比: 196,398増)

純資産: **2,387,697**

(全期末比: 304減)

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ194百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が157百万円、「商品及び製品」が140百万円、それぞれ増加したこと、「現金及び預金」が166百万円減少したことによります。

当中間連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「投資その他の資産」が50百万円増加したこと、「無形固定資産」が39百万円減少したことによります。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産は6,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。

主な流動負債の変動は、「買掛金」が92百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が34百万円、それぞれ増加したこと、「短期借入金」が100百万円、「未払法人税等」が65百万円、それぞれ減少したことによります。

当中間連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が195百万円増加したことによります。

この結果、当中間連結会計期間末の負債は3,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産につきましては2,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が11百万円減少したこと、「自己株式」の減少により8百万円増加したことによります。



中間連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	前中間連結会計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）
売上高	7,262,421	7,441,031
売上総利益	3,010,069	2,841,104
営業利益	103,059	121,867
営業利益率	1.42%	1.64%
経常利益	99,097	111,230
経常利益率	1.36%	1.49%
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,606	49,023

（注） 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

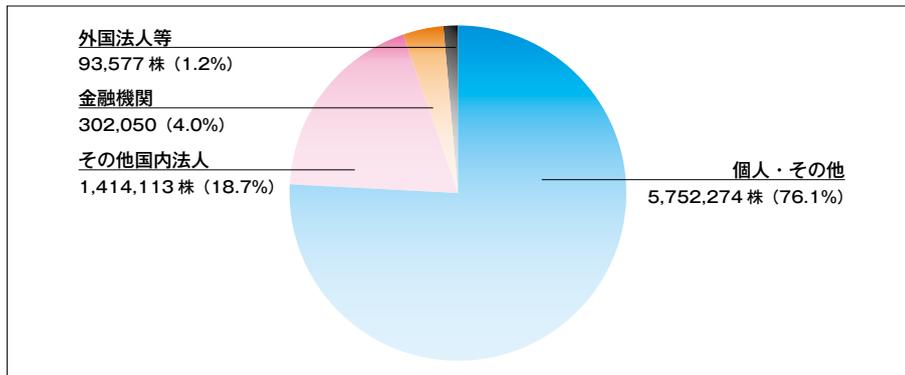
科目	前中間連結会計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）
中間純利益	130,606	49,023
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,629	—
その他の包括利益合計	6,629	—
中間包括利益	137,236	49,023
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	137,236	49,023

（注） 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 株式に関する事項

- ① 発行可能株式数 31,065,600 株
- ② 発行済み株式数 8,308,000 株 (自己株式 745,986 株を含む)
- ③ 株主数 14,619 名

所有者別状況



- (注) 1. 持株比率は自己株式 (745,986 株) を控除して計算しております。
2. 持株数は株主名簿に基づいて記載しております。

(2) 大株主に関する事項

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社AM	1,210,000	16.00
飯田 裕	178,100	2.35
アイケイ取引先持株会	164,800	2.17
飯田 清子	137,800	1.82
飯田 悠起	137,600	1.81
野村證券株式会社	136,200	1.80
山中 亜子	113,800	1.50
鬼頭 洋介	94,000	1.24
栗田 和代	84,300	1.11
長野 庄吾	76,600	1.01

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (745,986 株) を控除して計算しております。
2. 持株数は株主名簿に基づいて記載しております。

■ダイレクトマーケティング事業

韓国コスメを扱うSHOPルートは、韓国コスメのさらなる拡販を図るため、取扱いアイテム、ブランドの特徴を生かした販路拡大に努めてまいりました。また、エンドユーザーに響く販促活動にも取り組んでまいりました。

またECルートでは、EC事業をさらにスケールアップするため、自社ECサイトやクラウドファンディングに加え、ECモールでの拡販に注力しEC向け新商品の開発・販売・販促に取り組んでまいりました。今後もEC比率向上に向け、商品の拡販に取り組んでまいります。



◆BRAVE「メルティングリップスウィート」



◆SKINFOOD
「サーモンダークサークルコンシーラー」

■セールスマーケティング事業

生協・通販ルートでは、当社の強みを生かした商品提案の実施をさらに推進するため、販路限定商品の開発・販売や、著名人とコラボした商品開発を行うなど商品拡充を進めてまいりました。

店舗ルートでは、韓国コスメのさらなる拡販のため、新規販路の拡大や商品の拡充、またブランドや商品の認知拡大に向けたポップアップストアの実施などに取り組んでまいりました。

今後さらに成長を加速させる組織体制の強化や大手通販・小売企業との連携を強化し、セールスマーケティング事業全体の強化に取り組んでまいります。



◆長期保存型缶入りパン「おまもりパン」



◆コラーゲン粉末「ULuOi Collagen 5000」



◆ポップアップストアの開催



◆コンビニエンスストアへの販路拡大



会社の概要 (2025年11月30日現在)

商号 株式会社 I Kホールディングス (IK HOLDINGS Co.,Ltd.)
資本金 620,949 千円
代表者 長野 庄吾
設立 1982年5月
従業員数 29名
連結従業員数 170名

本社 〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目26番8号 KDX名古屋駅前ビル
TEL (052) 380-0260 (代表)
FAX (052) 856-3120
URL <https://www.ai-kei.co.jp>

東京支社 〒104-0061
東京都中央区銀座一丁目7番3号 京橋三菱ビル7階
TEL (03) 5159-5355
FAX (03) 5159-5359

(本店) 〒453-0809
名古屋市中村区上米野町四丁目20番地

役員 (2025年11月30日現在)
取締役会長 飯田 裕
代表取締役社長 長野 庄吾
常務取締役 高橋 伸宜
取締役(常勤監査等委員) 山本 あつ美
取締役(監査等委員) 和田 圭介
取締役(監査等委員) 大庭 崇彦



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月中に開催
剰余金の配当の基準日 期末配当：5月31日 中間配当：11月30日
証券コード 2722

上場金融商品取引所 東京証券取引所（スタンダード市場）
名古屋証券取引所（プレミア市場）

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 方 法 当社の公告方法は、電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行うこととしております。
<電子公告掲載ページアドレス> <https://www.ai-kei.co.jp/ir/koukoku>

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、单元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、当社の定款に基づき三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

